



地域の明日を医療で支える  
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しらくま 



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担うこども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.33  
2014.10.10発行

# ニュースレター



長野県立こども病院だより第33号 発行日：2014年10月10日 発行者：原田 順和  
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432  
<http://nagano-child.jp/> [kodomo@pref-nagano-hosp.jp](mailto:kodomo@pref-nagano-hosp.jp)

日本医療機能評価機構  
当院は日本医療評価  
機構の認定病院です



撮影：大畑 淳



## 長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達のために、  
質が高く、安全な医療を行います。

## Contents

こども病院祭は10月19日(日)です…	1
病院祭企画…	2
眼科部長就任のご挨拶…	4
青年海外協力隊だより “カンボジア・デング熱事情”…	4
外来紹介…	5
小児等在宅医療連携拠点事業…	6
院内研修会予定…	7
ありがとうございました…	7
編集後記…	7

## こども病院祭は10月19日(日)です

病院祭実行委員長 野口 昌彦

### 第6回病院祭



昨年の病院祭より

土・日の度に天気がぐずつくなど夏らしい夏を感じられず、いつの間にか季節は秋を迎え、今年も病院祭の時期がやってまいりました！今年の病院祭のテーマは【私の元気 ♪僕の元気♪大きな一歩を踏み出そう - 21年目の一歩 -】です。今年は大きな企画はありませんが、テーマの如く、実行委員みんなで一歩一歩企画を練ってきました。次

は皆様方の一歩をお願いする次第です。「あの部長さんが、あの師長さんが、あの人が汗だくになって、あんなことしていたよ！」なんて声が聞こえてくるかもしれません。普段の仕事場では見られない意外な一面を是非当日披露していただけたらと思います。

## 病院祭企画

### スターバックスちるくまかふえ (北2階会議室)

スターバックスのコーヒーを飲みながら二胡演奏・クリスタルボウル演奏を聴いてリラックスしてください。小池先生の『正しく知ろう！食物アレルギーへの理解と対応』の講演もあります。ぜひ来てくださいね。

### 乗り物

シャベルカー、ドクターヘリ、救急車、消防車、パトカー、装甲車などの働く乗り物達が集合してくれます。乗ったり、触ったり、運転手さん達の話の聞いたりしよう。



昨年の病院祭より

### 動物とのふれあいコーナー (築山)

動物とふれ合えるコーナーです。犬、うさぎ、ハムスターが来てくれます。実際にふれ合う前に、動物に触れる際のコツなどを解説してくれます。さらに本物そっくりな「海の生物ロボット」がプールを泳ぎます。触ることもできますよ。



### こども病院版キッズニア (南2階会議室)

「こども病院でお仕事をしている人たちの現場を体験してみよう」それぞれの部署から私達の仕事をより知っていただけるよう趣向をこらしています。普段は触れることのできない器械を使ったり、本格的な手術の体験もあります。

### 食事処 (キャノピー)

手打ちそば、つきたてもち、豚汁、たこ焼があります。他のコーナーを回る前に腹ごしらえするもよし、すみからすみまで存分に楽しんで小腹がすいたら寄るもよし。お待ちしております。



昨年の病院祭より

### 大道芸人ステージ他 (中庭)

プロの大道芸人である、一糸堂さん（モコとシドロモドロフの大道芸）、笑太夢さん（マジック）が、昨年に引き続き来てくださいます！どんな芸が飛び出すかは当日のお楽しみ。とっても楽しいステージになりそうですよ。

### メインホール (エントランス)

今年も正面ホールは音楽とダンス！南流石さん指導のちるくま体操、ハンドプリントアートプロジェクトのギターライブ、サブニューマ(アフリカダンス)など盛りだくさんです。ぜひ遊びに来てください。

### お楽しみコーナー (廊下)

わたあめ・ポップコーン・射的・くじびきなどの露店、工作コーナー、アロマやフェイスペイント・ヘアアレンジなどの体験ができる楽しさ満載のブースです。

### あん摩・マッサージ・指圧コーナー

長野県松本盲学校理療教育部の教員が、皆様の日頃の疲れを癒したり、体の調子を整えたりするお手伝いをさせていただきます。役に立つツボ講座も行います。



昨年の病院祭より

### 院内ツアー

こども達が入院している病棟に、いろんなゲストがやって来ます。毎年恒例の銀だこに加え、南流石さんとちるくまによる「ちるくま体操」や大道芸もあります。お父さん、お母さんと一緒にいっぱい楽しんでくださいね！

## 眼科部長就任のご挨拶

北澤 憲孝



平成26年5月1日より眼科の常勤に就任しましたのでご挨拶申し上げます。平成19年8月1日、宮坂院長時代に前任の常勤医が突然辞職、診療継続のため本院を初めて訪れました。以来6年9ヶ月、週に5日診療することもある非常勤医として勤務してきました。

当時長野県の眼科診療は困難を極めました。新臨床研修制度の開始年に信大眼科の責任者が県外に転出、中堅医師の病院からの離職が重なりました。勤務地の長野市では11人いた病院常勤医が4人（人口40万人）まで減少、長野赤十字病院には眼科救急が集中しました。信大復職1ヶ月後に起きた辞職。新生児の眼科診療は大変特殊な領域で全国的にも行う眼科医師は限られます。反対意見のある中、長野赤十字病院で県内の実状に精通していたことが当院の診療をお引き受けする動機になりました。現場を知らない先生から現実離れした御指導もありました。今日まで

やってこられたのは一緒に働いてきた現場スタッフや患者の御家族の姿に感じるものがあつたからだと思います。失明リスクのある未熟児網膜症の治療可能期間というのは時に数日しかない厳しいものです。県内の重症未熟児を引き受ける本院が長野県の周産期医療を円滑に進める鍵と理解できましたので当時退院は『眼待ち』が常態化していた新生児診療に全力を注ぎました。結果として新生児科の増床、治療を通じて当院に1億4千万円の収入をもたらし、経営の厳しい当院の運営にも協力できました。退院患者の増加に合わせ自費300万円弱を医療機器の購入に当て、優秀な視能訓練士2人と外来診療の立て直しもはかってきました。前任地の信大では、角膜、緑内障、小児の3つの専門診療を行い、論文捏造問題を契機に混乱に陥っていた眼科の診療体制の立て直しに力を注ぎました。東京では眼科専属医がいる規模の新生児診療を抱え、過度な期待には応えられませんが地道に診療を行う予定です。よろしくお願い申し上げます。

## 青年海外協力隊だより “カンボジア・デング熱事情”

臨床検査科  
工藤 裕美

私は青年海外協力隊の隊員として、2012年1月から2014年3月までの2年間、東南アジアのカンボジアに派遣され、現地で暮らしていました。日本で今話題のデング熱ですが、カンボジアではありふれた病気で、現地の人も多く罹っていましたし、同じ隊員や日本人の知り合いの中にも、数人、感染した人がいました。

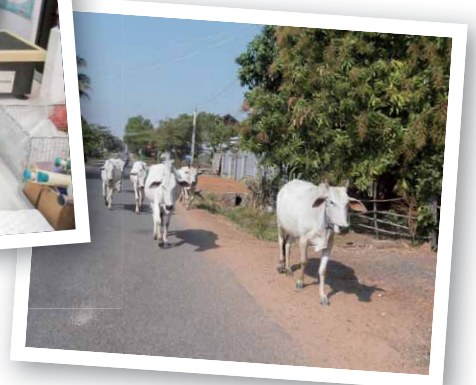
幸い、私はデング熱に罹ることはありませんでした。またデング熱になった隊員の中にも重症化した人はいませんでした。罹った人によると、熱などの風邪のような症状よりも、特に目の奥や関節など、痛みの症状の方が辛かったそうです。

予防法としてはワクチンもないため、とにかく蚊に刺されないようにしていました。外に出るときは、虫よけスプ

レーは必携。田舎ややぶなど虫がいそうな場所に行くときだけでなく、街に出るときにも注意をしていました。

私の前任の先輩隊員は、デング熱に罹ってしまったそうです。先輩はAST、ALTの上昇があり、血小板数は3万まで落ちたそうです。そのデータからすぐにバンコク搬送されました。現地の先生も治療は得意だそうです。規定により、大きな病気や怪我になった時は、カンボジアではなく、隣国のタイ、バンコクへ搬送となります。バンコクでは豪華な病院に入院となり、治療してもらったそうです。バンコクでの病院生活も体験してみたかった。デング熱になってもよかったのかな？

(写真は派遣先の風景です)



## 外来紹介

現在外来では、南・北外来における診療補助だけではなく、外来案内、入院案内、計測室、採血室、化学療法室、救急外来、外来検査全般など、外来患者さんを対象に様々な業務を受け持っています。外来を受診する患者さんは延べ人数で毎年2～3千人ずつ増加しており、平成25年度は年間で5万5千人を超えています。今年度から始まったアレルギー外来を含め全17診療科及び各種専門外来に対応しています。救急外来の開設に伴い、以前は平日の昼間だけであった外来の勤務体系は、土・日出勤や遅出勤など幅も広がってきています。

入院前、外来診察前の感染チェックは、院内感染を防止する上で重要な役割を担っており、外来スタッフも細心の注意を払ってチェックをしています。水痘や麻疹、風疹などの感染症の方と接触のある患者さんは、病院に来院してもどうしても診察が受けられないことがありますので、予防接種を2回受けることをお勧めしています。また、来院する前に電話で相談をしていただくとより適切な対応ができます。

現在外来のスタッフは、パート看護師、看護助手を含めて25名です。小さいこどもを持つお母さん看護師が多く、学校行事やこどもの急な発熱で休むことがよくあります。他の部署のみなさんにご協力をいただくことも多々あり、ありがたく思っています。

こども病院も20周年を迎え、受診する患者さんの年齢層も上がってきています。赤ちゃんの時からずっとこども病院にかかっているという患者さんも少なくありません。そのような病気や障害を抱えている患者さんやご家族の方たちに、数年前から成人移行期支援を行っています。こどもから大人に成長しつつある患者さんが、自分の病気や障害をきちんと理解し自分で体調管理をしていけることを目指し、活動を続けていきたいと思えます。

外来受診という限られた時間の中で、できるだけ患者さんやご家族の方が納得し満足できる医療が受けられるよう、医師や他職種のスタッフと力を合わせ頑張っています。



入院案内



計測室



化学療法室



救急外来

# 長野県からの委託により 長野県立こども病院は、平成25年度に引き続き “小児等在宅医療連携拠点事業”に取り組んでいます。

## 小児等在宅医療連携拠点事業とは？

### ●背景と課題

新生児集中治療管理室（NICU）等から退院し重度の医療的ケアを要する小児等の在宅医療については特有の課題に対応する体制整備が必要

### ●本事業の目的・概要

- ・小児等在宅医療に伴う医療機関を拡充（診療所、訪問看護、医療型短期入所施設など）
- ・地域における医療・福祉・教育の連携体制の構築
- ・医療と連携した福祉サービスを提供できるコーディネータ機能の確立

## 平成26年度 活動は？

### ●情報の共有化

“こどもと家族を核に  
支援者同士繋がろう！”

#### ●電子連絡帳

「しろくまネットワーク」の運用  
順次出張説明会を行います。  
気軽にお声をおかけください。

### ●研修会の企画・運営

- 保健師研修
- 相談支援専門員研修
- 相互交流研修

当院にて実習受け入れあり。ご相談ください。

- 在宅療養中の災害対策
- 小児の緩和ケア

### ●重症心身障害児 全数調査

### ●地域の医療・福祉の資源調査

小児在宅医療の充実は、ひとりひとりの理解や地域力が上がり、支え合う事、支援者ができる事をしようとする思いと行動する“一歩”で生まれます。

皆様、ご支援宜しく申し上げます。

患者支援・地域連携室

問い合わせ先 患者支援・地域連携室 電話：0263-73-6700（代表） FAX：0263-73-6122

長野県立こども病院 院内研修会予定

「グラム染色を臨床に役立てる」

講師：西神戸医療センター 臨床検査技術部  
山本剛 先生  
日時：11月28日(金) 17時30分～19時00分  
場所：南棟2階大会議室  
内容：小児科を中心にグラム染色が診療の鍵となった症例をケーススタディ形式でお話しいただきます。実際の臨床にすぐに役立つグラム染色を学ぶことができます。  
研修主催者：尾川陽（後期研修医）  
\*後期研修医対象ですが、院内外の医療関係者の参加も歓迎します。

「敗血症再考」

講師：独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター  
志馬伸朗 先生  
日時：12月22日(月) 17時30分～19時00分  
場所：北棟2階大会議室  
内容：小児ICU マニュアル編者の志馬先生による敗血症の最新の知見を中心にお話しいただきます。  
研修主催者：尾川陽（後期研修医）  
\*後期研修医対象ですが、院内外の医療関係者の参加も歓迎します。



「小児の急性腎炎」

講師：滋賀県立医科大学小児科学講座  
澤井俊宏 先生  
日時：平成27年1月9日(金)  
17時30分～19時00分  
場所：南棟2階大会議室  
内容：昨年度に引き続き小児腎疾患を専門とする澤井先生にご講演をいただく機会を得ました。本年度は急性腎炎についてお話しいただきます。  
研修主催者：尾川陽（後期研修医）  
\*後期研修医対象ですが、院内外の医療関係者の参加も歓迎します。

「小児救急医療と患者安全

Here, TWhere and Everywhere」

講師：北九州市立八幡病院 小児科主任部長・小児救急センター長 神菌淳司 先生  
日時：平成27年1月30日(金)  
17時30分～19時00分  
場所：南棟2階大会議室  
内容：小児救急外来におけるトリアージ、早期警戒システム (Early Warning System: EWS) の重要性は言うまでもないが、実際に導入、運用されている施設は多くありません。今回、Triage/EWS 研究会世話人代表である神菌淳司先生に、理論に基づいた初期評価法とバイタルサインの変化による病態の経時的把握とその変化の予測法についてご講演いただきます。  
研修主催者：林大祐（後期研修医）  
\*後期研修医対象ですが、院内外の医療関係者の参加も歓迎します。

ありがとうございました

今年度も皆様からの温かいお心により、たくさんの寄付をいただきました。深く感謝申し上げます、ここにご紹介させていただきます。

寄付日	寄付者名
5月9日	タリーズコーヒージャパン(株) マーケティング本部 様
5月12日	南原 様
5月21日	水上 様
6月7日	内間 様
6月12日	中島 様

寄付日	寄付者名
8月18日	布山 様
8月27日	和田 様
9月1日	「アナンドちゃんを支援する会」 様
9月2日	JX日鉱日石ビジネスサービス株式会社 様
9月29日	長野県理容生活衛生同業組合 青年女性部 様

編集後記

スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋…、上に何を付けてもそれらしく聞こえる秋は便利な季節です。運動も勉学も一年中やってるんですけどねえ。さて、こども病院の病院祭は毎年秋に開催されます。さしずめ“病院祭の秋”といったところでしょうか。実行委員の皆さんが張り切って企画を練り上げていますので、どんなお祭りになるか今から楽しみです。さらに大成功のあかつきには、来年から“秋の病院祭”になるかもしれません。ということは、春夏秋冬にお祭り？やっぱり年一回の病院祭の秋を大いに楽しみましょう。 小木曾

長野県立こども病院 外来医師担当表

平成26年10月1日現在

外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
整形外科	渡邊 佳洋	高橋 淳(PM) <sup>※1</sup>	松原 光宏 藤岡 文夫(AM) 加藤 博之 <sup>※2</sup>	松原 光宏(AM)	松原 光宏
小児外科		畑田 智子(AM) 好沢 克(AM) 高見澤 滋(PM)	高見澤 滋(PM)	畑田 智子(AM) 好沢 克(PM)	
眼科	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練(AM)
総合小児科	南 希成(AM) <sup>※3</sup> 笠井 正志(PM)	樋口 司	樋口 司(PM) 南 希成(PM) <sup>※4</sup> 笠井 正志(PM) <sup>※4</sup>	南 希成(AM)	樋口 司(AM)
総合小児科 アレルギー外来	小池 由美(PM)		小池 由美(AM)		
総合小児科 内分泌・代謝外来		竹内 浩一		竹内 浩一	竹内 浩一(AM)
血液腫瘍科 免疫・アレルギー外来			小林 法元(AM)		
血液腫瘍科 血液・腫瘍外来	坂下 一夫	坂下 一夫(AM)	坂下 一夫	坂下 一夫	柳沢 龍
循環器科 (内科・外科)	梅津健太郎(AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 中野 裕介 (内科)	原田 順和(AM) 梅津健太郎(AM) (外科)	安河内 聰 田澤 星一 中野 裕介 (内科)	瀧間 浄宏 田澤 星一 (内科)
循環器科 成人移行期外来		元木 博彦			
リハビリテーション科					笛木 昇(AM)
精神科 こころの診療科					原田 謙(AM) <sup>※5</sup> 篠山 大明 (10/10 PM)
脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来	市野みどり		市野みどり	市野みどり(AM)	市野みどり(PM)
神経小児科	平林 伸一 <sup>※6</sup> 福山 哲広	平林 伸一 <sup>※6</sup> 福山 哲広(PM) 奥野 慈雨	平林 伸一 奥野 慈雨(AM)	奥野 慈雨(AM)	平林 伸一 福山 哲広
小児外科					高見澤 滋 <sup>※7</sup>
新生児科	溝上 雅恵(AM) <sup>※8</sup> 小田 新(AM) <sup>※8</sup> 亀井 良哉(AM) <sup>※8</sup> 中村 友彦(PM)	小久保雅代	廣間 武彦	廣間 武彦	小久保雅代
形成外科	野口 昌彦 藤田 研也 永井 史緒	安永 能周(AM) <sup>※9</sup>	野口 昌彦 藤田 研也 永井 史緒	野口 昌彦(PM) 丸山百合子	野口 昌彦(PM) 杠 俊介(PM) 藤田 研也(PM) 永井 史緒(PM)
総合小児科				笠井 正志(PM) <sup>※3</sup>	
麻酔科	大畑 淳(AM)				大畑 淳(AM)
皮膚科				芦田 敦子(AM)	
遺伝科	古庄 知己 <sup>※10</sup>	西 恵理子	西 恵理子	西 恵理子(AM) 泉 幸佑(PM) <sup>※11</sup> 高野 亨子 <sup>※12</sup>	西 恵理子(AM)
耳鼻咽喉科		下記 <sup>※13</sup>		出浦美智恵	
循環器小児科 胎児心臓外来		田澤 星一	松井 彦郎	瀧間 浄宏	安河内 聰
産科	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代
リハビリテーション科	笛木 昇	関 千夏(AM) 笛木 昇(PM)	笛木 昇	原田由紀子 三澤 由佳(AM)	笛木 昇(PM)

※1 整形外科の高橋医師は第2、4週の診察となります。 ※2 整形外科の加藤医師は3ヶ月に1回第3週のみ診察となります。  
 ※3 月曜日の南医師と木曜日の笠井医師は、午後4時～5時の間だけ予防接種相談外来になります。  
 ※4 南医師・笠井医師は、ワクチン接種になります。  
 ※5 精神科(こころの診療科)原田医師は第1、3週の診察となります。外来の初診は、受付していません。  
 ※6 月・火曜日の午前 平林医師は発達障害専門外来です。 ※7 胃腸・中心静脈栄養外来です。  
 ※8 溝上医師は第1週、小田医師は第2、4週、亀井医師は第3週、第5週は溝上医師、亀井医師が交代での診察となります。  
 ※9 火曜日の安永医師は第4週の午前のみ診察となります。 ※10 遺伝科の古庄医師は午前11時からの診察となります。  
 ※11 遺伝科の泉医師は第2、4週の診察となります。 ※12 遺伝科の高野医師は第3週の診察となります。  
 ※13 耳鼻咽喉科 午後 週によって、医師が異なります。

★診察時間：午前9時～午後4時  
 ★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始  
 ★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話  
**0263-73-5300**